

四国植物防疫研究

第 9 号

1974年(昭和49年) 6月

目 次

低濃度のカーバメイト系殺虫剤によるウンカ・ヨコバイ類の防除	中筋房夫・桐谷圭治	1
ツマグロヨコバイと稻萎縮病に対するカルタップ剤の効果	尾崎幸三郎・大熊衛・岩部武司	7
ニカメイガの少発生現象と稻の栽培条件の変化との関係	尾崎幸三郎	13
ハスモンヨトウの発生機構に関する研究(Ⅱ) 作物体のPHおよび蔥酸が寄主選択性におよぼす影響	橋田信行・高山昭夫・上森実・河野弘	25
ビニールハウス栽培のイチゴを加害するハダニの防除薬剤	吉岡幸治郎・松本益美	31
サトイモのカンザワハダニに対する各種薬剤の効果		
サトイモ畠におけるミナミネグサレセンチュウの周年消長	高橋晋・南条治彦・上田進・吉岡幸治郎・松本益美	35
Rhizopus 属菌によるイネ稚苗の生育障害とその防止に関する研究	松本益美・吉岡幸治郎・隅田俊三・近藤武由・丹原一寛・栗原肇	41
ムギ赤かび病に関する研究(第5報) 各種薬剤の防除効果およびオーソサイドの散布時期と防除効果について	古谷真二・倉田宗良・齊藤正	49
シコクビエのいもち病(予報)	大畑貫一	61
シコクビエ(<i>Eleusine coracana Gaertn.</i>)のモザイク病	山本孝彌	65
愛媛県におけるトマト条斑病の発生について	重松喜昭・橘泰宣	71

(目次は裏に続く)

四国植物防疫研究協議会

トマト萎ちう病に対する薬剤の土壤施用効果	上田進・南条治彦・別宮岩義・垂水忠男・日野諭	79
キュウリモザイク病の発生生態と防除に関する研究 (1)カンレイシャ・ピニールおよび ポリフィルム利用によるモザイク病の防除	重松喜昭・橋泰宜	83
ウリ類うどんこ病に対するチオファネート剤およびベノミル剤の防除効果の減退現象に ついて	草川顕一・黒原春男・森本松男・倉田宗良・山本磐	89
非水銀剤による種もみ消毒	大畠貫一・久保千冬	95
非水銀剤による種もみ消毒効果	福西務・加々美好信	105
非水銀剤、とくにベンレートT水和剤20による種もみ消毒について	上原等	109
非水銀剤による種類消毒の効果について	重松喜昭・橋泰宜	119
非水銀剤によるイネの種もみ消毒効果	古谷真二・斎藤正	123
非水銀剤による種もみ消毒に関する四国地域連絡試験結果の要約	大畠貫一	127
記 事		94